

国際看護論	3 年・後期	1 単位 8 コマ	教授 箕輪 千佳
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121143

1. 授業のねらい・概要

看護のニーズはあらゆる人々に普遍的である。看護ケアは年齢、皮膚の色、信条、文化、生涯や疾病、ジェンダー、性的指向、国籍、政治、人種、社会的地位を尊重するものであり、これらを理由に制約されるものではない（国際看護師協会の倫理綱領の前文）。国境を越えて広域的に広がる健康問題は、感染症をはじめとして地震・津波による自然災害、紛争やテロなどによる難民流出などの人的災害がある。食料不足で生じる貧困と飢餓も広域的である。このように日本はもとより世界の社会状況に敏感に反応できる感性を向け、自ら判断して行動することが国際看護の目指すところだと考え、グローバル化を踏まえた国際看護の基本理念を学習し、看護師の立場でどのようにグローバルヘルスへ参画していくかを考察する。

2. 学修の到達目標

1. 国際看護の意義・目的・活動の場を理解する。
2. 世界の健康問題の現状と課題、国際保健政策について理解する。
3. 国際看護活動を支える組織や国際協力機関の役割を理解する。
4. 異文化看護を展開するための理論と適応プロセスを理解する。
5. 日本国内における多文化共生と看護の役割を理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークを取り入れる。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	国際看護の目的、概念、対象	講義	予習：テキスト第1章 1, 2, 3, 4を読む 復習：授業資料を復習する 以下のDVDを視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 国際看護を学ぶ意義 3. 身近にある国際看護 4. 緒方貞子氏メッセージ	箕輪千佳
2	世界の健康課題 （母子保健、SDGs）	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 1, Ⅶ章 4を読む 復習：授業資料を復習する 以下のDVDを視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 国際機関と世界のつながり 2. プライマリ・ヘルスケア 3. 世界を変えるための目標	箕輪
3	世界の健康課題（感染症）	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 2, Ⅶ章 9を読む 復習：授業資料を復習する 以下のDVDを視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 世界で活躍する看護のプロフェッショナルたち 1. マラリア予防の啓発活動	箕輪
4	世界の健康問題に取り組む国際機	講義	予習：テキスト第Ⅲ章 4, Ⅴ章 1を読む	箕輪

	関		復習：授業資料を復習する 以下の DVD を視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 国際機関と世界のつながり 1. 人々の健康と国際機関 4. 国際協力と日本の ODA	
5	異文化理解と看護 雑草祭で留学生とともに模擬店を運営する。	演習	予習：テキスト第Ⅱ章を読む 復習：模擬店をともに運営した経験から、外国人と活動する上で大切なことを考察し、レポートにする。	箕輪
6	国際看護活動の実際	講義	予習：テキスト第Ⅵ章 4, Ⅶ章を読む 前回授業の終わりに配布した資料を読み、解らない語句について調べてくる 復習：災害看護について、授業資料を復習する。	箕輪
7	在日外国人と訪日外国人の医療と看護	講義	予習：テキスト第Ⅴ章 2, 3, Ⅷ章を読む 復習：授業資料を復習する 以下の DVD を視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 世界を視野に入れた看護の現場 2. 日本で生活する世界の人々への健康支援 3. 異文化の人々への対応	箕輪
8	看護師の国際的移動 筆記試験	講義	予習：テキスト第Ⅴ章 4, 5 を読む 復習：授業資料を復習する 以下の DVD を視聴し授業と関連して学んだことをまとめる。 世界を視野に入れた看護の現場 1. 看護職の国際移動 You tube: 未来の国際医療人を育成	箕輪

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%，課題レポート20%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：森淑江（2019）：国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために（看護学テキスト NiCE） 南江堂.

参考文献は授業で随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

最低1時間の予習の中であらかじめ、授業前に必ず一度は予定範囲を読んでおく。復習(1時間以上)は、その日のうちに行う。

8. 受講上の留意事項

不明な点、理解できない点があれば、遠慮せず、質問すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員がチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。試験の結果

と模範解答は後日掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目であり修得できない場合には直接、進級不可にはならないが、必修単位と選択単位を合計して、卒業要件単位数を満たさなければならない。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。